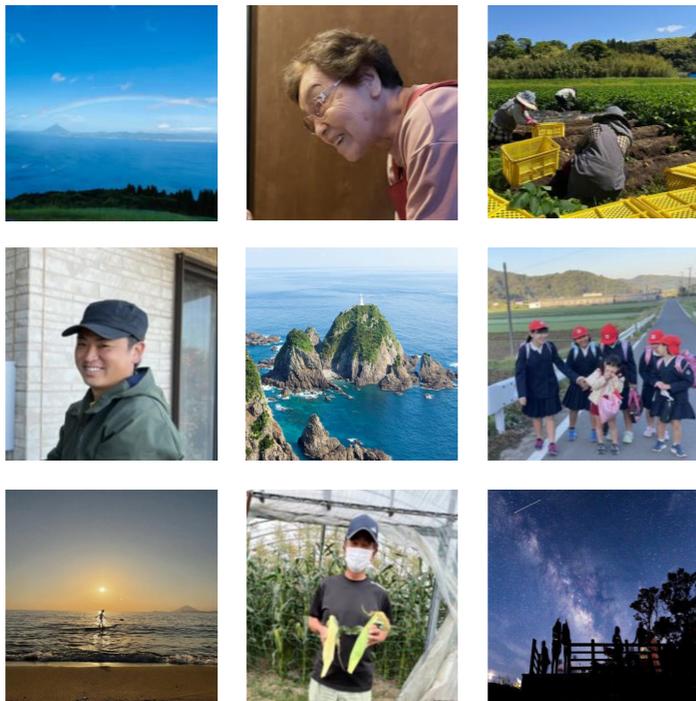


私の、私たちの大好きな町。



■編集・発行
南大隅町関係人口拡大創出プロジェクト
〒893-2501鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北226
TEL：0994-24-3113（企画観光課） FAX:0994-24-3119

まんなかと、すみっこと。

首都「東京」と本土最南端「南大隅町」のあたり前を比べてみました



はじめに

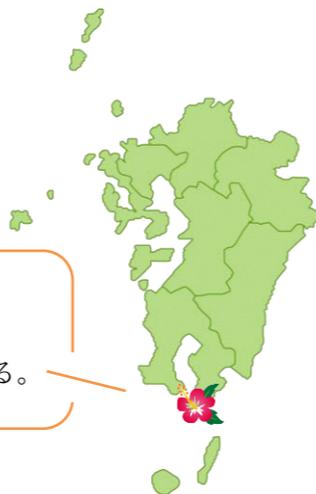
みなみおおすみちょう
本土最南端に位置する「鹿児島県南大隅町」。
高齢化率は県内トップ、総人口は6,500人ほどの小さな町。
空港から約3時間、最寄りの駅まで1時間超。そんな場所にあることから、しばしば「陸の孤島」ともいわれるこの町の暮らしとは。

「田舎」その言葉がぴったり当てはまる。
その暮らしの中には人々の作り上げた温かな物語が、風土がある。

田舎と都会、そこにはどのような違いがあり、どのような魅力があるのか。
様々な比較により、この町のリアルをお届けしたい。



日本の本土最南端に
位置する南大隅町
正真正銘の「すみっこ」である。



もくじ

まちの姿

自動販売機	・・・ P03-P04
バスの時刻表	・・・ P05-P06
夜の景色	・・・ P07-P08
*コラム：南大隅町ってどんなところ？	
数字で比べる 🔍 田舎と都会	・・・ P09-P10

風景

絶景スポット	・・・ P13-P14
シンボリックな建造物	・・・ P15-P16
春の風物詩	・・・ P17-P18
夜景	・・・ P19-P20

暮らし

くだもの	・・・ P23-P24
おさかな	・・・ P25-P26
釣り	・・・ P27-P28
子どもの遊び場	・・・ P29-P30

ひと

フードデリバリーサービス	・・・ P33-P34
すれ違う人と人	・・・ P35-P36
無人販売	・・・ P37-P38
*コラム：南大隅町の当たり前	・・・ P39-P40

#まんなかと、すみっここと。

さつまいも	・・・ P41	60代男性	・・・ P42
たぬき	・・・ P43	黒板消し	・・・ P44
芋のかき揚げ	・・・ P45	飲み会	・・・ P46
*コラム：南大隅町で暮らす			P47-P48

まちの情報	・・・ P49-P51
おわりに	・・・ P52

まちの姿

空港から約3時間、最寄りの駅まで1時間超。
買い物に行くのも一苦勞。地理的に不利なこの町の生活。
ここに暮らす人々にとって不便さは、もはや当たり前。
慣れればどうってことない。

東京

自動販売機



■画像提供元：株式会社JR東日本クロスステーション ウォータービジネスカンパニー

【タッチパネル式の自動販売機】

すごい！カッコいい！！スマート！！都会ではあちこちで見かける、あるのが当たり前の自動販売機。最新式はディスプレイにタッチし、飲み物が落ちてくる演出も。飲み物を買うのも楽しくなる。

南大隅町

自動販売機



【林の中にポツンとある自動販売機】

コンビニは町に2軒、一番遠い集落は最寄りのコンビニまで車で1時間。飲み物を手に入れるのも一苦勞。林の中、田んぼや畑の広がる農地の中、ポツンと自販機は貴重なオアシス。

東京 平日			土曜			休日		
6	22 32 42 52		19 36 48	6	22 47			
7	01 10 19 27 35 44 53		00 10 20 30 42 53	7	12 31 50			
8	02 10 18 27 29 35 37 43 51 59		01 10 20 29 38 47 56	8	00 10 20 29 39 47 56			
9	07 15 24 33 35 43 54		05 14 24 34 43 53	9	05 14 24 34 43 53			
10	05 07 16 27 29 39 51 53		03 13 23 33 43 53	10	03 13 23 33 43 53			
11	03 15 27 29 39 51		03 13 23 33 43 53	11	03 13 23 33 43 53			
12	03 05 15 27 39 51		03 13 23 33 43 53	12	03 13 23 33 43 53			
13	03 15 27 39 51		03 13 23 33 43 53	13	03 13 23 33 43 53			
14	03 15 25 34 43 52		03 13 23 33 43 53	14	03 13 23 33 43 53			
15	00 08 16 24 32 40 48 56		03 13 23 32 42 52	15	03 13 23 32 42 52			

【都心のバスの時刻表】

分刻みのスケジュールで1つ乗り過ぎてもすぐ次がくる。むしろ時刻表いらんんじゃないかレベル。鉄道、地下鉄、路線バスなど公共交通機関が充実し、自家用車がなくても快適に生活できる。



【南大隅町のバスの時刻表】

自動車やバイクなどの移動手段がないと生活がしにくい南大隅町。免許や自動車を持っていない方にとって、バスは生命線。しかし、そのバスの本数は一つ乗り過ぎすと致命的である。ただ通勤ラッシュや渋滞はほぼないので、そのストレスはフリー。

まちの姿

東京



夜の景色

【深夜を回っても煌々と照らすネオンの光】

多くの人々が行き交う道には、笑い声、怒号、音楽など様々な音が響き、エネルギーが満ち溢れている。太陽が沈んでも空が暗くなっても、街は眠らない。

南大隅町



まちの姿

夜の景色

【南大隅町根占のメインストリート】

夜9時にもなると街灯の明かりのみが辺りを照らす。歩行者はほぼゼロ。車もまばら。時折聞こえるのは虫や草木が揺れる音。静寂に包まれている。今世界に一人しかいないのでは？そんな気分を味わえる。

南大隅町ってどんなところ？

総人口 : 6,059人
男性 : 2,944人
女性 : 3,115人

高齢化率 : 51.59%

世帯数 : 総世帯数 3,518世帯
根占地区 2,499世帯
佐多地区 1,019世帯
(R6.4.1現在)

人口の約半分が65歳以上の高齢者。
高齢化率は県内トップ。
集落によっては70%を超える地区もある。
年々人口減少と少子高齢化が進み、
過疎の一途をたどっている。

南大隅町の1年間の出生数は約30人
1年間で生まれる子牛の数は約2,500頭
人口より牛の頭数の方が遥かに多い、
それが南大隅町である。



【 主な産業 】

- ・肉用牛や豚、ブロイラーの生産
- ・施設園芸や熱帯果樹のマンゴーやパッションフルーツ、
パイナップル、アボカドなどの栽培
- ・「ねじめ黄金カンパチ」などをはじめとした養殖業



第一次産業が主を占める。温暖な気候を生かした亜熱帯果樹栽培に力を入れ、
新規就農者なども増えている。

数字で比べる🔍田舎と都会

人口、高齢化率、平均年齢、出生率などなど・・・
様々なものを数字で比べた時に、南大隅町と都会ではどのような違いがあるのか。
全く違ったり、意外と同じだったり。

出生率

東京 1.22人
南大隅町 1.67人

(出典：平成25年～平成29年人口動態保健所・市区町村別統計)

高齢化率

東京 22.7%
鹿児島 49.3%

(出典：令和2年国勢調査)

人口密度

東京 6402.6人/km²
鹿児島 30.3人/km²

(出典：令和2年国勢調査)

南大隅町の人口が令和6年4月1日現在、6,059人となっており、東京の1km²の中に、南大隅町の面積213km²に住むほぼ全員が暮らしていることになる。高齢化率も2倍以上となっており、南大隅町の厳しい現実が数字にも表れている。ただ、出生率に関しては1.67人と全国平均を上回り、子育てしやすい地域性が伝わるのではないだろうか。子育てに関する支援も手厚く、「日本一の子育てしやすい町」を目指し、様々な子育て支援策がとられている。

(本誌49ページに南大隅町子育て支援策の一部をご紹介します。)



風景

日本の原風景が残る南大隅町。
季節によって全く違う様々な色を見せてくれる。
自然が作り出す美しさは見るものを魅了し圧倒する。
人々が守り、共存し、育んできたこの町の宝。

東京



【東京SHIBUYA SKY】

渋谷上空229mから広がる360度の景色を堪能できる観光スポット。東京を一望できる屋上からのパノラマは圧巻。14階～45階の移行空間、屋外展望空間、46階の屋内展望回廊の3つのゾーンで構成され様々な体験ができる。

南大隅町



【パノラマパーク西原台】

標高439mの高台にある、錦江湾を一望できる展望台。桜島と錦江湾を一度に味わえる贅沢なスポット。パラグライダーの滑空ポイントとしても人気。壮大な景色に圧倒される。海と空、壮大な景色に心も開放される。

東京



【東京駅】

東京を代表する歴史的な建造物。大正3年に建設され、震災や第二次世界大戦などで焼失したが、現在はその当時の姿が復元され、赤レンガ造りの建物が重厚さと歴史を感じさせる。東京を代表する駅で建造物としての価値も高い。

シンボリックな建造物

南大隅町



【佐多岬】

日本最古の灯台の1つ「佐多岬灯台」を有する佐多岬。町を代表する観光スポット。大海原と広い空に浮かぶ白い灯台がとても美しく、訪れた人を魅了する。本土最南端の岬として、ライダーにも人気。灯台が昭和20年の空襲で焼失、昭和25年に再建され今に至る。

シンボリックな建造物



【お花見】

都会の春の風物詩といえば、「お花見」。桜の名所ではたくさんの方がきれいな桜を見ながら会話したり、食事をしたり。それぞれが思い思いに春の空気を楽しんでいる。



【じゃが田（じゃがた）掘り】

春になると、あちらこちらに黄色いコンテナが積み上げられる。これは町の特産品である「春馬鈴薯」（馬鈴薯→じゃがいも）の収穫に使うもので、収穫した馬鈴薯はコンテナに入れられ、集荷される。友人知人・親戚を巻き込んだ収穫作業は春の恒例イベントである。

東京



【展望台から見た東京の夜景】

展望台や高層ビルから見る事ができる夜景。人々の作りだした明かりはきらきらと輝き、夜の都会を照らす。昼間の風景とはまた違う美しさに思わず息をのむ。

南大隅町



【星空】

南大隅町の夜の景色といえば星空。視界いっぱいに広がる星空。町内どこでも空を見上げると、満点の星空を見ることができる。冬の空気が透き通った時期に見る星空は格別。夜の明かりが少ないからこそ見られる贅沢な景色。

暮らし

南国の自然豊かな風土での、温かな暮らし。
自然に寄り添い、自然を生かし、自然を楽しむ。
この町には何も無いところから何かを作り出す達人がたくさん。
時には退屈に思うこともあるけれど、楽しみはそこら中に落ちている。



【市場で売られている果物】

都会では果物は買う、もしくは、贈答品として誰かからもらうもの。日常的に食することは贅沢に感じる人もいるだろう。市場には全国各地から集まった野菜・果物などが並び、見る人の目を楽しませる。



【おすそ分けしてもらった果物】

旬の季節になるとご近所さんや親せきなどからおすそ分けをもらう。時には食べきれないほどのおすそ分けをもらい、おすそ分けのおすそ分けをすることも。新鮮な果物を新鮮なうちに味わえるのは田舎の特権である。

暮らし

東京



お
さ
か
な

【旬の魚を味わえる海鮮丼】

都会では魚はお店で食べるもの・買うもの。海鮮丼ひとつとっても、お寿司屋さんでも近所のスーパーでも美味しいものが手に入る。手軽に全国各地の魚介類を手に入れることができるのは、中心にある東京ならではの特権。

南大隅町



暮らし

お
さ
か
な

【知人がおすそ分けしてくれた魚】

南大隅町では、魚は釣るもの。もしくは魚釣りが趣味の友人や漁業関係のお仕事をしている人たちからおすそ分けしてもらったり、安価で譲ってもらったりするもの。魚釣りが趣味の友人が一人いたらありがたい。

すみっこ

暮らし

東京



釣
り

【釣り堀】

都会で釣りを楽しもうと思ったとき、気軽に行ける釣り堀。コイやニジマス、金魚などの釣りを体験でき、中には釣った魚をお持ち帰りできることも。小さい子どもでも初心者でも手軽に釣りを体験すること出来る。

27 まんなか

暮らし

南大隅町



釣
り

【豊富な漁場】

黒潮の流れ込む南大隅町には、釣り好きも集まる絶好の釣りスポットが多数存在し、町内には釣り具専門店も。きれいな海に囲まれ、仕事前、仕事後、釣りがしたいと思ったら気軽に向かうことが出来る。

すみっこ 28

東京

子どもの遊び場



【公園で遊ぶ子どもたち】

自然に触れる機会の少ない都会で、生き物に触れたり自然を感じることでできる貴重なスポット。子ども達に様々な体験をさせてあげられるように創意工夫された施設は、休日ともなると多くの人で賑わう。

南大隅町

子どもの遊び場



【松林の中で遊ぶ子どもたち】

山や川、海が近くにあるため、小さな頃から自然に触れ、自然の中で遊ぶことができる。遊び道具は落ちていた木の実や木の葉。木も天然の遊具。広い土地でのびのびと走り回れる。

ひと

南大隅町の一番の財産は人である。
温かな風土に暮らす人々は、人情に溢れ優しく遅しい。
人と人の距離が近く、地域で支えあうのが当たり前。
古き良き日本の暮らしが残る。

ひと

東京

フードデリバリーサービス



【フードデリバリーサービスの配達員】

オンラインや電話などで好きな料理や飲み物をお店に注文し、配達員が自宅など指定の場所に配達してくれるフードデリバリーサービス。自宅にいながらお店の味が楽しめる便利なサービス。コロナ禍、行動制限がある中でも人々の胃袋を満たしてくれた。

33 まんなか

ひと

南大隅町

フードデリバリーサービス



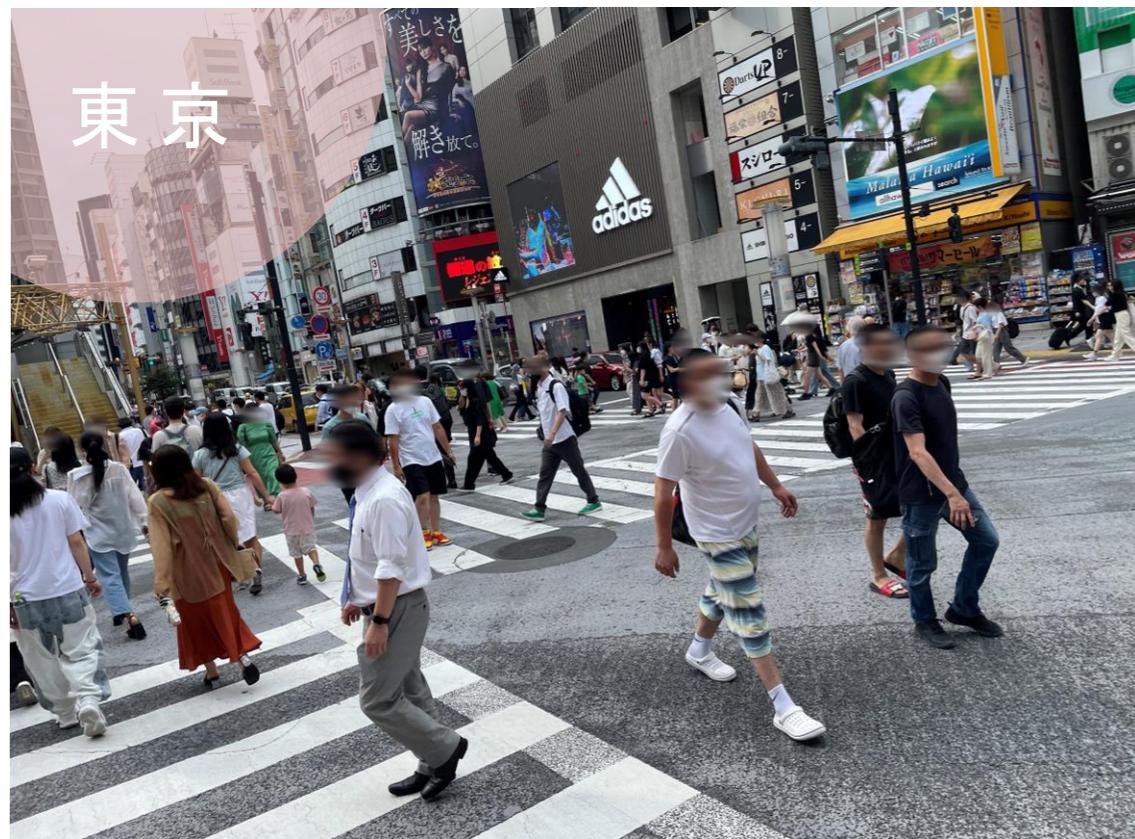
【おばあちゃんからのおすそ分け】

南大隅町にはオンラインで注文・配達してくれるサービスはない。しかし、ご近所の方や親せきによる愛情と地元の恵みの詰まった手料理がたびたび配達される。真心こもった手作りのお料理は、心もお腹も満たしてくれる。

すみっこ 34

ひと

東京



すれ違う人と人

【通り過ぎる人々】

都会では誰かとすれ違って挨拶をすることもなければ、目すら合わせることもない。隣の住人の顔も名前もわからない、都会では当たり前のことである。

まんなか

南大隅町



ひと

すれ違う人と人

【挨拶があちこちから聞こえてくる】

「誰かに会えば挨拶をする」それが当たり前のこと。朝は通学中の子どもたちの元気な声が聞こえ、日中はお年寄りの井戸端会議が色々なところで開かれる。挨拶があることで自然と地域全体で子どもを見守る形ができている。

すみっこ



東京

【最新技術を使った無人販売店舗】

都会で無人販売といえば、最新の技術を使い、お会計まで無人で行うことができる店舗を思い浮かべる。非接触決済、アプリダウンロード不要、事前登録もなく、スマートにお買い物ができる。しかも、ただスマートだけでなく、その地域ならではの商品を中心に厳選された商品も購入できる！便利！

南大隅町



【町内各所にある無人販売・無人市】

野菜や果物、花や加工品等がおかれ、料金は設置された箱に各々支払う形である。地元の美味しい産品が手に入り、朝早くから訪れる人が絶えない。午前中の早いうちに売り切れることも。地域の交流の場にもなる。こうした無人販売が成り立つのも、平和なこの町だからこそ。

南大隅町のあたり前

南大隅町に住む人たちからするとあたり前のことでも、よその人から見るとびっくりするような風習や文化がある。簡単にまとめてみる。



町花であるハイビスカス。町のあたたかな雰囲気にぴったりのかわいらしい花。見る度に心が元気になる。

町内各所に趣向をこらした「かかし」が点在している。あまりの精巧さにびっくりすることも。



ゴミの分別

ゴミの分別が細かく、指定のゴミ袋には名前を書いて、ゴミステーションに捨てる。

ハイビスカスがあちこちに

南国の花「ハイビスカス」があちこちに咲いている。開花の季節になると、様々な色のハイビスカスを一般家庭の庭で楽しめる。



一人一台車持ち

車がないと生活しにくいので、一人一台車やバイクを所有している。農業用の軽トラなども含めると一家の総所有台数はすごい。

おやつは道端の花の蜜

学校帰りお腹がすいたら、道端の花の蜜を吸ったり、木の実を食べたり。小学生も高学年になると、食べれる植物を見分ける博士になる。



徒歩10分の距離も車移動

車社会の弊害か、近くに行くのもすぐ車移動。都会では歩くのが普通の距離でも、車を使ってしまう。運動不足が心配。

赤ちゃんは地域の宝みんなの孫

赤ちゃんや子どもがいると、知らない人でもすぐに話しかけ可愛がる。まるで自分の孫のよう。地域全体で子どもの成長を見守る。



まんなか

#まんなかと、すみっこ。

同じ事柄でも、まんなかとすみっこでは、全く違う呼び方や捉え方をしているものがある。その地域によって様々に変化する文化や風習、言葉。その一部をお届けする。

すみっこ

まんなか

60代男性

すみっこ

? 東京では



は? 南大隅町で

ん おじさ



者 若

東京では「さつまいも」南大隅町では「からいも」と呼ばれる。方言の一つで、地元の高齢者の方の会話は若者では理解できないことも。言葉には地域の歴史、伝統、風習が詰まっており、大切な財産である。

東京

東京では60代男性はおじさんに分類されるだろう。しかし、南大隅町では若手として、現役世代と変わらないくらい、時にはそれ以上の活躍を見せる。少子高齢化が進む南大隅町では、60代70代世代の人々が町を支える。様々なことをやりこなし、伝統を引き継ぎながらまた新たなことに挑戦する。

南大隅町

まんなか

たぬき

すみっこ

まんなか

黒板消し

すみっこ

動大
騒



事日
常茶
飯

し黒
板消



ルラ
ー
フ

東京

都会では現ただけで大きくニュースになる「タヌキ」。駅や町中に現れ世間をにぎわすタヌキだが、南大隅町では遭遇するのは日常茶飯事。夜、車を運転していると、タヌキやイノシシ、野ウサギなど野生の動物とすれ違うこともしばしば。

南大隅町

東京

鹿児島県や宮崎県などの一部の地域では、黒板消しのことを「ラーフル」と呼ぶ。語源は諸説あり、昔、黒板を消す際にほつれた糸をまとめたモップのようなものや糸のほつれた布などを使用していたことから、オランダ語で「ほつれた糸」や「ぼろ布」などを意味する「ラーフル」という言葉が使われるようになったともいわれる。ハイカラな感じがして、おしゃれ。

南大隅町

まんなか

芋のかき揚げ

すみっこ

まんなか

飲み会

すみっこ

芋のかき揚げ



が
ね

会
飲
み

方
飲

ん
か
た

東京

鹿児島県の郷土料理のひとつ「がね」。細く切ったさつまいもににんじんやニラなどの野菜を混ぜ、もったりとした衣をまぶしかき揚げ状にして揚げた料理。子ども達のお菓子やお茶うけなどにも出され、冠婚葬祭などでも振舞われる。地域や家庭によってその作り方は様々。小さいころから親しみ食べ続けてきたふるさとの味である。

南大隅町

東京



鹿児島県では飲み会のことを「飲ん方（のんかた）」と呼ぶ。「～すること」を「～方」といい、「今日は家掃除をし方だったがよ～」などと使われる。晩酌を表す鹿児島弁には「だいやめ」などもあり、家族や友人などとその日の疲れを焼酎などで晩酌をしながら癒すという鹿児島の文化である。

南大隅町

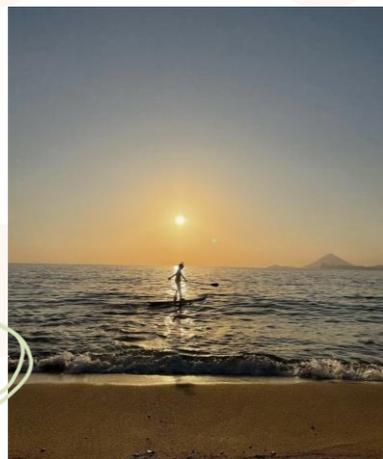
南大隅町で暮らす

自然に囲まれた南大隅町。
そこに暮らす人々がどのような生活を送っているのか。
生活の一部を覗き見る。

休みの日はマウンテンバイクで西原台へ
自然が作り出したコースはスリル満点！



学校が終わった後は近くの海でSUP！
海が近いからこそその贅沢な時間。



夜ごはん、お魚食べたいな～
そうだ、仕事帰りに釣って帰ろうっと。



畑で食べる採れたてパイナップルの
美味しさたるや。ここでしか味わえない
贅沢な楽しみ♡

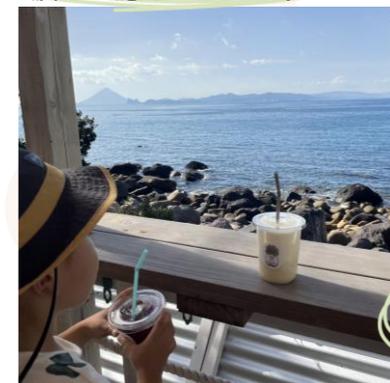


朝焼けバックにランニング。朝日に背中
を押されて、なんだかいつもより早く走
れる気がする。



海を見ながらバーベキュー。
波の音とお肉の焼ける音が最高～！

週末の楽しみは海が見えるおしゃれな
カフェへ！美味しいドリンクと景色が仕
事の疲れを癒してくれる。



自転車競技場で地元高校生の応援！息遣
いまで聞こえてきそうな距離での応援に
こちらまでドキドキ。



キンキンに冷やした地元産のクラフト
ビールをお風呂上りに味わう。子どもた
ちが寝静まった後の密かな楽しみ。

小さな町の、大きな支援



すみっこの町から「子育て支援日本一のまちづくり」を目指し、町では子育て世代への様々な支援を行っている。子ども達の笑顔は地域の宝。子どもが笑顔でいることはその親世代、その上の世代までみんなを笑顔にしてくれる。自然豊かなこの地で、安心して子育てできる環境づくり。この町にゆかりがない人もある人も、みんなで守り育てる。暖かな風土、温かな人柄。どんな人も包み込むようなそんな優しさがこの町には溢れている。

給食費が0円!

令和5年度から町内小中学校に通う児童生徒の給食費が0円に。給食は学校の楽しみのひとつ。食育・地産地消の推進と、すべての子ども達が平等にお腹も心も満たすことができるように支援。

保育料0歳から無料

令和5年度から南大隅町に住所のある0歳から6歳の乳幼児の保育料が無料になる。待機児童もほぼ0。子育てしやすい環境づくりをサポート。



18歳までの医療費は実質0円

0歳から18歳到達以降の年度末までの子どもにかかる医療費を助成。積み重なると大きな医療費。助成により子どもたちの健康を守る。

小中学校入学時に支援金 小6・中2では 修学旅行助成金も!

遺贈された基金を活用し、小中学校入学時に5万円ずつ、小6・1万5千円、中2・2万5千円の助成金を支給。

子育て支援金が 最大100万円もらえる

子どもの誕生を祝うとともに、子育て世代の負担を軽減するため、支援金を交付。子どもたちの健やかな健康を促し、老若男女みんなが元気な町を作る。

- * 第一子誕生時→5万円
- * 第二子誕生時→10万円
- * 第三子誕生総額→50万円
(出生時～4歳到達時に各10万円)
- * 第四子以降誕生総額→100万円
(出生時～4歳到達時に各20万円)

のびのび子育てしたい人に うってつけの町

自然に囲まれたこの町は至る所に子どもの遊び場がある。自然に触れ、思う存分走り回ることができる。日々変わる自然を感じ、触れる贅沢な体験。その豊かな体験こそが子どもたちの感性を、心を、広げる。



広い公園ではいくら走りまわっても大丈夫! 芝生の感触が気持ちいい。

食育の一環として、実際に自分たちで野菜を植え収穫する。



砂の感触、波の音、刻一刻と変わる景色。五感を刺激する最高の時間。

南大隅町では移住に対する支援も手厚い。一度来たらきっとこの町の心地よさ、あたたかさの虜になる。

お試し住宅

最大15日間、実際に町で生活体験ができる。移住後のイメージが膨らみ仕事や住居探しの拠点としても使える。町の雰囲気を感じられる。

移住・定住視察の 旅費を補助

移住セミナーやオンライン相談会に参加し、実際に町を視察・生活などを確認した際の旅費を補助。移住希望者の負担を軽減する。

この他にも、子育てや移住者に対する支援を多く行っている。町のHPで詳細をチェック

移住 ▶ 子育て ▶

※助成金や制度に関しては、内容改訂される可能性があります。最新の情報は南大隅町のHPをご確認ください。

南大隅町へのアクセス

▽鹿児島中央駅から
→南大隅町役場まで約2時間半
→佐多岬まで約3時間半

▽垂水フェリーから約1時間

▽鹿児島空港から約3時間

車で



南大隅町にたどり着くまでの道のりは長い。しかしその道中は、錦江湾越しに見える開聞岳や時々会えるイルカなど、毎度飽きずに楽しむことができる。

「南大隅町と私。」

南大隅町の暮らしを発信するSNS。大好きな南大隅町での生活の一コマを「私」目線でお届けします。イベント情報なども発信しますので、ぜひフォローお願いします！



Facebook



Instagram



本土最南端に位置する「鹿児島県南大隅町」からあなたに是非見て欲しい、私が過ごす日常をお届けします。



南大隅町魅力いっぱいの町です。
ぜひ遊びに、会いに来てください！

おわりに

南大隅町での暮らしは不便なことも確かに多い。

どこに行くにも遠いし、大きなお店もない。
コンビニも2軒しかないし、チェーン店なども出店しない。

だけど、それに負けないくらいの魅力が詰まっている。

ここに住む人たちが作り守ってきた風土、人情、伝統、自然。

不便さの先にある、心の快適さ。

自然に囲まれ、温かな人々に囲まれて、豊かな生活を送る。

初めての人もそうでない人も、「ただいま」と言いたくなるようなそんな町。

南大隅町、私の、私たちの大好きな町。

